

# ESD推進のための公民館－CLC国際会議概要

## Kominkan-CLC International Conference on ESD

資料3-2

CLC・・・Community Learning Centreの略。日本の公民館をモデルとして、ユネスコの支援などにより、アジア各国を中心に、識字教育・職業訓練や住民主体の学習・地域づくり・ネットワークの拠点として設置が推進されている施設。

### 1. 会議の概要

開催日：平成26年10月9日（木）～12日（日）

開催地：岡山市（岡山コンベンションセンター他市内各公民館）

主催等：岡山市、公民館・CLC会議実行委員会、文部科学省

共催：ユネスコアジア・パシフィック教育事務局（ユネスコ・バンコク事務所）

ユネスコアジア・パシフィック科学事務局（ユネスコ・ジャカルタ事務所）

ユネスコ生涯学習研究所、公益社団法人全国公民館連合会

参加者：海外28カ国・地域から約100人、国内約550人 計 約650人



愛知県名古屋市で平成26年11月に開催される「ESDに関するユネスコ世界会議」の閣僚級会合並びに全体取りまとめ会合に先立ち、岡山市において、国内並びに海外28か国の公民館、CLC関係者、国連機関、NPO等民間団体、研究者、企業など650名を超える参加者が一堂に会し、**持続可能な社会づくりにおける公民館・CLCのビジョンを討議し、その実現に向けた方策を提言するため、国際会議を開催。**

#### （開催の経緯）

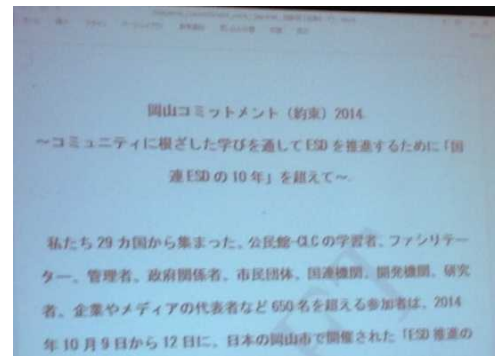
「国連ESDの10年（DESD）」のスタート以来、公民館活動が盛んな岡山市では、公民館を地域のESD推進拠点として、多様な地域課題の解決に取り組む中、2007年にユネスコ等との共催で「公民館サミット in 岡山－地域づくりとESD推進－」を開催。以来、アジアのCLCと岡山の公民館との交流、学び合いが始まった。

「国連ESDの10年」の最終年となる本年、総括として開催される「ESDに関するユネスコ世界会議」の一環として、ESDの推進における公民館・CLCの活動の重要性を確認するため、本会議の開催を決定。



## 2. 提言「岡山コミットメント(約束)2014」の策定

- ①公民館、CLC活動におけるESDの重要性と、ESDの推進における公民館、CLCの役割の双方について、理解を拡大。
  - ②地域や国際社会の情勢から生じる持続可能性に関する課題に対応するための「実践するコミュニティ」を創り出すため、関係者同士が、コミュニティの内外で戦略的な連携協力関係を結び、ともに活動する。
  - ③地方や国、地域や地球規模の課題の解決に向けた公民館－CLC活動へのサポートを政府、政策決定者、国際機関、企業に働きかける。
- など15の「約束」が本会議の参加者全員の総意として取りまとめられた。
- この「岡山コミットメント(約束)2014」については、11月10日(月)～12日(水)愛知県名古屋市で開催されるESDに関するユネスコ世界会議でのワークショップを通じて閣僚級会合に報告予定。



## 3. 会議で得られた今後の教育政策への示唆

- (1) 持続可能な社会の実現のためには、地球レベルでも地域レベルでも課題解決のために自発的に学び、行動し、他者とともに生きることが出発点。
- (2) ESDの推進のためには、地域の学びにおいて、環境、福祉、産業、防災、医療、文化遺産等の幅広い分野で、学校教育・社会教育、研究機関、行政機関、営利・非営利団体などの様々な組織が連携することが重要であり、これらを「つなぐ」公民館的な機能が肝要。
- (3) これからの学びには、フォーマルな教育とノンフォーマルな教育とを合わせた社会全体での教育の構築・発展が重要。



ESD推進のための公民館 - CLC国際会議

住民主体で地域課題解決に取り組む、  
飯田型公民館の組織と活動について  
～飯田ムトス大学事業の取組から～

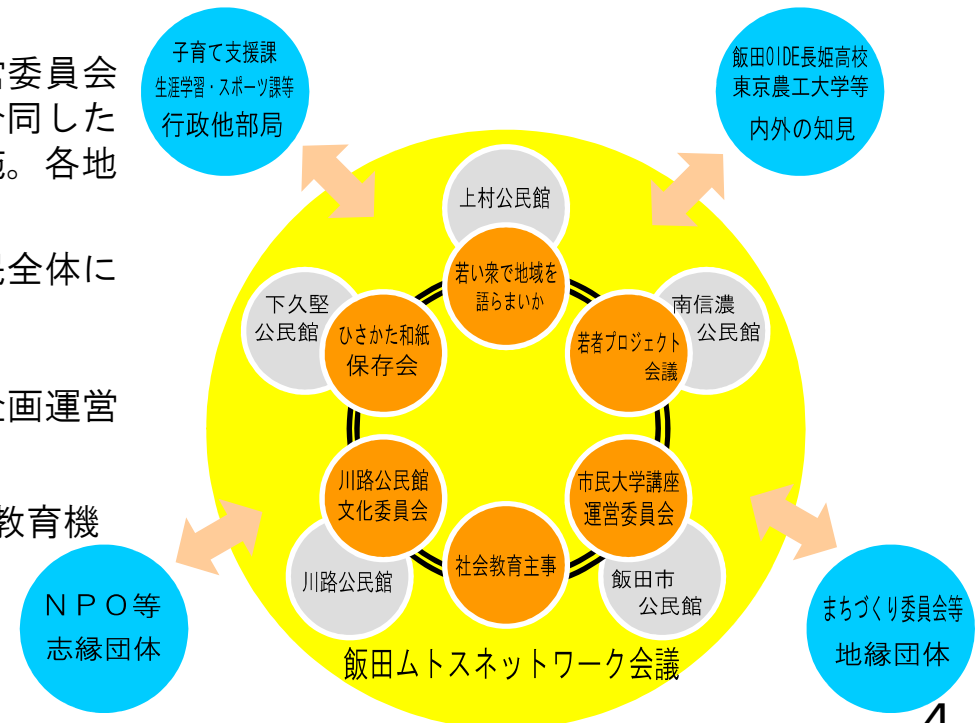
長野県飯田市公民館

# ムトス大学事業の概要

1 地区ごとに取り組む地域課題・生活課題を結びつけ、他地区との活動と交流を通して、**住民主体の学習と交流に基づく人材サイクルの構築**を目指す。

2 新たな事業展開ではなく、**企画運営から住民主体の既存事業のブラッシュアップ**を図る。

- ①地区ごと取り組む地域課題・生活課題をテーマとした重点事業を、新たな枠組みとして複数地区をネットワークした事業展開
- ②重点事業は地域ごとに住民主体の専門委員会・運営委員会等による企画運営体制で取り組むが、その委員会が合同した連絡会（飯田ムトス大学ネットワーク会議）の実施。各地域のリーダー交流会
- ③地域を越え、相互の事業へ参加しあうなど広く市民全体に開かれた講座とする
- ④事業参加者の中から実行委員をピックアップし、企画運営に関わる人材養成の機能として位置付け
- ⑤NPOなどの志縁団体や地縁団体、行政他部局、高等教育機関等内外の知見と連携
- ⑥同じ課題を持つ公民館による合同事業の実施



# 飯田ムトス大学事業がめざす姿

住民自治による持続可能な地域経営

人材サイクルの構築

内外の知見  
他部局との連携

志縁団体・  
地縁団体との連携

共創の場 = ムトス大学ネットワーク会議

\*「事業構想力の研究」(清成忠男 著)より引用

川路の明日を考える研究集会

飯田市公民館大会

ひさかた和紙の保存伝承活動

南信濃若者プロジェクト会議

川路通学合宿

上村若い衆で地域を語らまいか

天龍峡夏期大学講座

## 飯田型公民館をフィリピンへ輸出

### レガスピ (LEGAZPI) 市



フィリピンの中では最も貧しい地域の一つとされるビコール地方の中にあり、台風や活火山のマヨン山噴火の被害を頻繁に受ける地域  
主たる産業は農業